|  |  |
| --- | --- |
| **29**（月） | にけたまり |
|  | **使1章3節**　イエスはしみをけた、くのかなをもって、ごがきていることをたちにされた。にわたってらにれ、ののことをられた。 |
|  | Remnantはがかをしくりましょう。をかれば、はれます。イエス・キリストののによってサタンがかれます。をわうりと、えるのに、のことがまれています。そのときからRemnantにえることがあります。１つ、てるべきことと、えることがえるようになります。このとき、サタンのやぐらがかれて、りのでのやぐらがてられます。Remnantは、いつも、に、のわりまでともにいるとわれたのをわうだけでいのです。２つ、わうことと、つけることがえます。り300%を(、、)わえば、のがつかります。がくださるのは、をかす、にいられる、レムナントをてるです。３つ、えることと、てることがえます。「」をえて、やぐらをてるのです。をげるりをしてやぐらがてられます。Remnantはにはえないのですが、がえられるのことをることができるなをしましょう。これをするRemnantのは、にけたまりになるでしょう。 |
|  | 、をちくのであるイエス・キリストによってをきてきますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2025.1.4.核心訓練 |

|  |  |
| --- | --- |
| **30**（火） | のえのまり |
|  | **創13章14～18節**　そこで、アブラムはをして、ヘブロンにあるマムレのののそばにてんだ。そして、そこにのためのをいた。(18) |
|  | Remnantはしくをしながら、をつけましょう。そのために、だけをらないようにさせるサタンのからされて、のがでともにおられるをりましょう。また、どのようににいられるのかをつけましょう。どのようにすればいのでしょうか。１つ、がっていることをえるになるようにしましょう。すべてので、をじないのをろすとき、きはまります。Remnantはをじないをろして、キリストのをってをきましょう。２つ、のことをつけすにしましょう。はRemnantにけて、とのをしてくださいました。Remnantは、そのをつけて、しましょう。３つ、すると、のをたてるがてます。どこへっても、をしても、ができるをけます。そして、そのがにまでします。Remnantはのがか、がどのようにするのかをえるだけでいのです。これがにえれば、くすべてのにえがえられていることがえるでしょう。 |
|  | 、しくをしながらがえられたをつけますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2025.01.05.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **１**（水） | メルキゼデクにったアブラハム |
|  | **創14章17～24節**　、きのひもさえ、はあなたのからつらない。それは、『アブラムをませたのは、このだ』とあなたがわないようにするためだ。(23)  |
|  | はRemnantにつのをしてくださいました。(、\*、\*、\*、\*)そして、は、までもなかったし、これからもないのをっておられます。それゆえ、Remnantはつのりだけをすればいのです。１つ、のをわうりのりです。Remnantがるとき、のやぐらがられます。そして、のをむようになり、くにがのしるべをってかれます。ひとりでのをわうりをめましょう。２つ、りです。してるにRemnantがちがるようになり、につがこります。また、をかすの、ができるの、Remnantをかすのがします。３つ、をかすりです。とほかのRemnantにながえられるようにりましょう。すると、Remnantによってのすべてのはをけるようになります。Remnantがこのようにれば、できるをけます。からりのりとり、をかすりをめましょう。\*:がまるやになること\*:あるやでかをするほど、やなこと\*:いれないほどのがあること\*:のではできないこと  |
|  | 、りのでするをけますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2025.01.05.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **２**（木） | もなまり |
|  | **創37章1～11節**さて、ヨセフはをて、それをたちにげた。するとらは、ますますをむようになった。(5)たちはをねたんだが、はこのことをにとどめていた。(11) |
|  | Remnantのにあるはもなまりになります。ヨセフはのにつえをけたのですが、そのにはの、のがありました。とのので、あわてることなく、だまされずにいるためには、りのがです。それなら、Remnantにどんなりのがなのでしょうか。１つ、と、をかす３のりについてりましょう。と、にとともにいるをすれば24になって、25、のえにつながります。２つ、いりについてりましょう。パウロはがのままだったのか、をれたのかからないほどいりのにりました。りにくれば、がやしてくださいます。からだと、たましいがかされるようになります。３つ、いのちをかけたりについてりましょう。パウロはにってローマにくとき、にあいました。すべてのがののでれていたとき、パウロはのにりてっていのちをかけたりをしました。Remnantにもくのと、があるかもしれません。しかし、そのにはのがあります。そのをえて、のみこころをめる３、いり、いのちをかけたりをするRemnantになりましょう。 |
|  | 、と、ので、のみこころをめるりができるをえてください。もなまりをするレムナントになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2025.01.11.レムナントとTCK伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **３**（金） | をかすのり |
|  | **イザ62章6～12節**　「エルサレムよ、わたしはあなたののにりをいた。、らは、もっていてはならない。いこしていただこうとにめるたちよ、んではならない。をませてはならない。がエルサレムをくて、こののれとするまで。」(6～7) |
|  | はをかすりのりとしてRemnantをばれました。りは、からをるです。Remnantはりでをるのです。１つ、Remnantを「かすり」としてばれたをりましょう。のにはがたないのでにそうになっているがいます。をするさえもいます。イエスはユダヤにサタンのがあるとわれました。は、をえています。このをかすのです。２つ、Remnantがけた「のり」のがかをりましょう。イエスはカルバリので、のすべてのをされました。そして、のやぐら、、しるべをくださいました。マルコののにんだをするもくださいました。３つ、「りがにけるえ」をりましょう。いだったダビデは、になるサミットのえをけました。ダビデのようにサミットのえをけてくのをやしましょう。そして、のにのがっているので、のやぐらがてられてとのまわりのがかされるのをましょう。りのりが、、になれば、になるでしょう。をかすりのえをけましょう。 |
|  | 、をかすりのえをけますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.10.08.日本伝道集会1講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **４**（土） | をかすのり - やぐらをてよう |
|  | **イザ62章6～12節**　れ、れ、を。こののをえよ。りげ、をりげて、をれ。をいて、もろもろののにをげよ。(10) |
|  | Remnantはりなので、りのやぐらがです。のをわうりによって、ネフィリムのやぐらがちされます。すると、りのやぐらができます。やぐらのにはつのことがです。１つ、ほかのがるしかないプラットフォームがです。のやぐらをがててくださるように、けてりましょう。すると、と、をかすえがえられて、をてるになります。そのとき、Remnantにプラットフォームができます。２つ、をかすをつりがです。すると、がえてくださったをむようになります。Remnantがくごとにやしとサミットがこります。がかされてRemnantがきるのをます。３つ、とがじるアンテナがです。すると、Remnantのにしるべがちます。そのときから、Remnantのすべてのがやぐらにわります。Remnantのはミッションホームになって、まるはRUTCになります。そして、ができて、くのがかされるのをるようになります。Remnantはがくださったのをわうりをしましょう。がずやぐらをててくださいます。 |
|  | 、がくださったのによってりのやぐらがちますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.10.09.日本伝道集会2講 |